

第5章 評価と進行管理

1 推進・評価体制

本計画は、多様な主体との協働で推進するものです。

そして、計画の着実な推進を図るため、秦野市環境基本計画庁内会議を中心に、組織横断的な調整や視点を活用しながら諸施策を円滑に展開します。

また、計画の進行管理に対する評価には客観性が求められるため、附属機関である秦野市環境審議会において、各年度の取組状況を「環境報告書」として報告し、指摘や助言等を受けることとします。

2 進行管理の手法

本計画は、PDCAサイクルに基づき、実効性とスパイラルアップを意識した持続可能な進行管理を図ります。

また、施策や事業の点検及び評価を具体的に行うため、望ましい環境未来像を実現する基本施策に数値目標を設定し、適切な評価による施策の達成状況を共有します。

さらに、環境課題の解決に有効とされるバックキャスティング(*)などの多角的思考を取り入れながら、より効果的な施策展開に努めます。

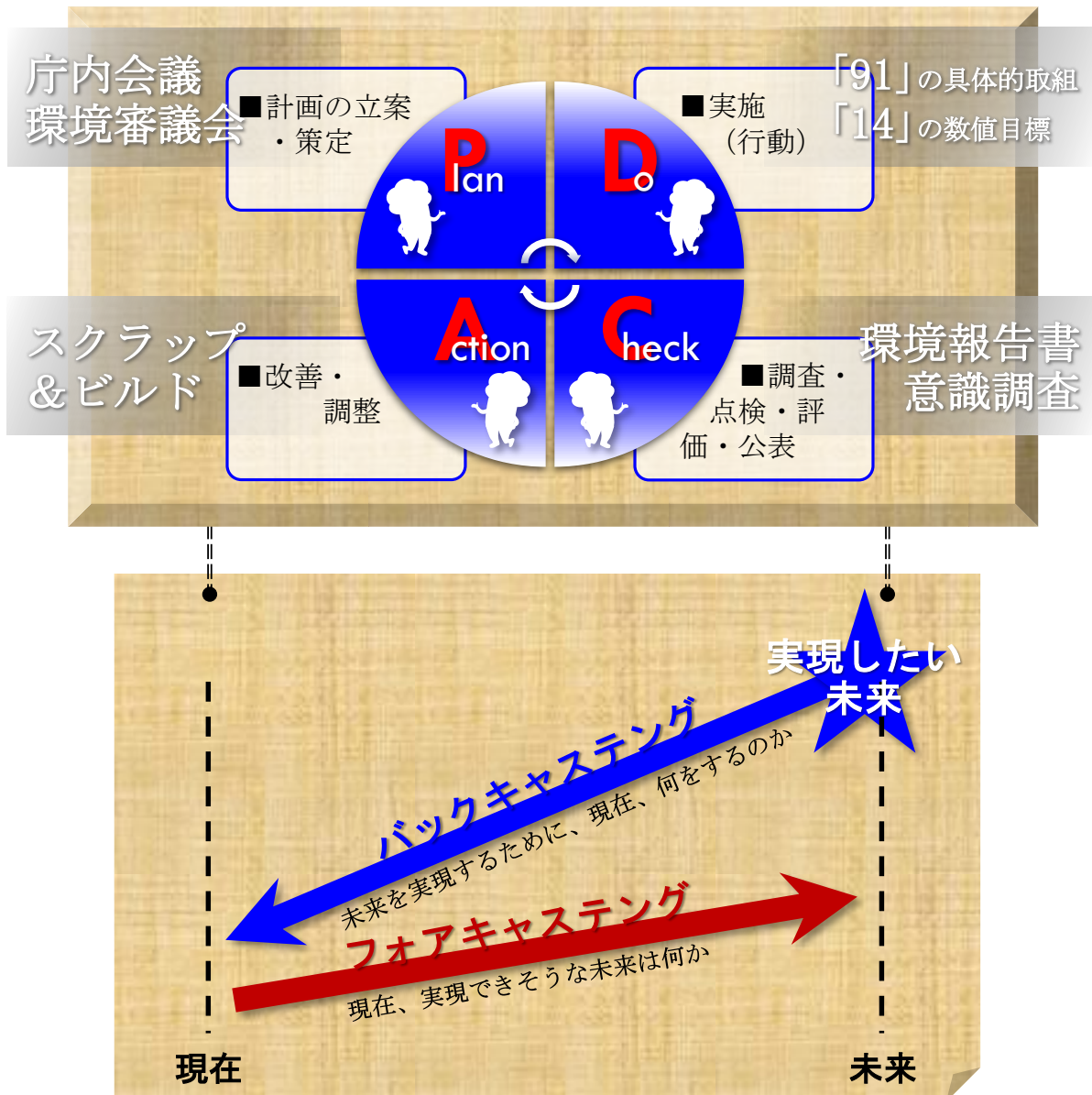


図8 PDCAサイクルとバックキャスティングによる思考図